

絆を育む、  
年中行事との  
深い関わり

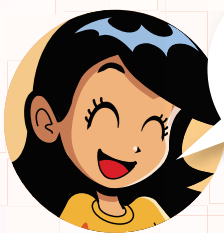


## 絆を深め、食に幸せの

## 願いを込める

一年の始まりであるお正月は、幸せや豊作をもたらす歳神さまを家にむかえる行事として古くから大切に祝われてきました。お正月に食べられるお節料理やお雑煮は元々、神様へのお供えとして作られたものです。

日本にはこうした年中行事や、お食い初め、七五三などの人生儀礼があります。こうした通常の日とは別のハレの日に食べられる和食には、特別な意味が込められています。



年中行事にはいろいろな思いや願いが込められているから大切にしたいね。

### 五節句カレンダー

1月7日  
ひんぴつ  
(人日の節句)

七草がゆ

1年間の無事を祈り、七草粥を食べる



3月3日  
ひなまつり  
(上日の節句)

ひな祭り

邪気をはらうヨモギ入りの草餅を食べる



5月5日  
たんご  
(端午の節句)

こどもの日

粽(ちまき)や柏餅を食べて健康を願う



7月7日  
しちせき  
(七夕の節句)

七夕

索餅(さくべい)と呼ばれる細い麺で無病を祈願



9月9日  
くきゅう  
(重陽の節句)

菊の節句

菊酒を飲んで健康長寿を願う



調べてみよう! 正月のおせちなど様々な年中行事では、どんなものを食べるのかな?

### 和食王選手権では...

おせち料理は、「めでたさを重ねる」という意味で縁起をかつぎ、重箱に詰めています。ちなみに北海道では、大みそかの夜におせちを食べる習慣があります。

<北海道ブロック代表:札幌市立平岸高台小学校チーム>



## — 第1回 —

# 全国子ども和食王選手権開催

# ワシキング<sup>ワシキング</sup>決定!

小学生が和食の知識と技を競う「第1回全国こども和食王選手権」が、2016年11月20日、東京都江東区の日本科学未来館で開催されました。激戦を勝ち抜いて初代和食王に輝いたのは、東北ブロック代表のメンバー。他のチームもレベルが高く、それぞれの地域の特徴があふれる和食の魅力をも十分にアピールした素晴らしい戦いでした!



## 審査員の皆さんによる トークショーも開催 和食文化に世界も大注目!

**村田さん** 「私のお店には、外国人のお客様がたくさん訪れます。汁の味からだしの種類を当てたり、みなさんの和食知識は日本人以上にすごいですよ。『和食』はもう世界の食なんだと実感しています」

**平野さん** 「海外で『和食』は本当に人気ですね。私もメキシコのお寿司屋で、錦糸卵を使った海苔巻きやちらし寿司などのメニューを指導しました。今は大繁盛店だそうです」

**松丸さん** 「日本の学校給食も世界から注目されています。『和食』を基本に、栄養バランスがしっかり考えられていて、他の国がなかなかまねできない。僕たちも小学生のみなさんに負けないで、和食文化をつなぎ、未来に世界に広げていけるようがんばりたいと思います」



(写真左から) タレント 平野レミさん  
和食料理人 村田明彦さん 栄養士 松丸奨さん